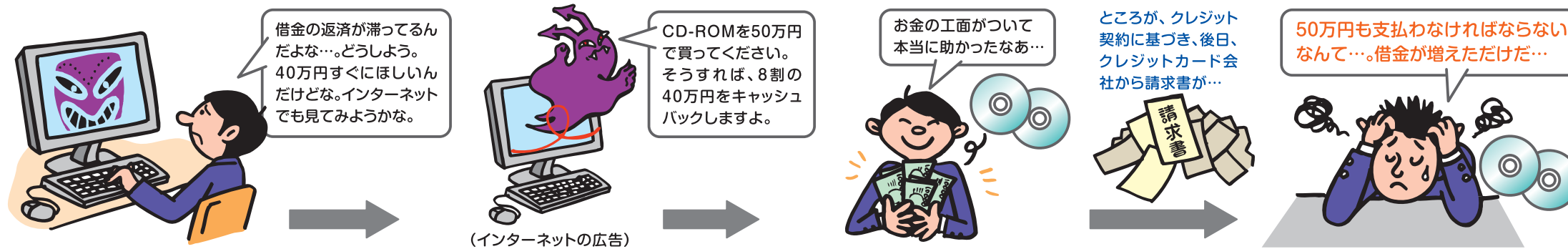


クレジットカードのショッピング枠の現金化の事例

ケース① A君の場合 ほとんど価値のないものをクレジットカードで購入させ、その代金の何割かをキャッシュバックするもの



A君が手にしたのは、ほとんど価値のないCD-ROMと現金**40万円**、B社長は現金**40万円**のみです。

ケース② B社長の場合 自社の商品をクレジットカードで購入させ、手数料を差し引いた金額で買い取るもの



結局、クレジットカード会社に支払わなければならないのは、**50万円**ですので、差し引き**10万円**の損となります。

※金利で計算すると年300%になります。(元本40万円を借り入れ、利息10万円で30日後に返済する場合)

ケース①でも、ケース②でも、インターネットでの取引や実際の店舗（リアル）での取引があります。また、「クレジットカードのショッピング枠の現金化」には上記以外にも、カード会員に転売しやすい金券類などを指定し、それを販売しているお店でその金券類などをクレジットカードを利用して購入させて手数料を引いた額で買い取るものなどがあります。なお、表示されている換金率の金額を受け取れなかったり、業者から約束されたお金が渡されなかったりするなどの事例もみられます。

消費者の皆様への注意

- ①クレジットカード会社は、換金を目的とするクレジットカードの利用を認めていません。このことは、クレジットカード会社とカード会員との約束事である「クレジットカード会員規約」に記載されています。このようなことは、規約違反として、「残金の一括請求」、「カードの利用停止」、「カードの強制退会」等のペナルティを受けることにもなります。
- ②クレジットカードのショッピング枠を現金化しても、カード利用した代金はクレジットカード会社に支払わなければなりません。その場でいくらかの現金を手に入れたとしても一時的にしるげのりで、結局は自分の債務を増やすこととなります。
- ③クレジットカードのショッピング枠を現金化する業者に提供したカード番号や個人情報等が悪用されてしまうことがあります。
- ④場合によっては、利用者本人が犯罪に問われることやトラブルに巻き込まれることもあります。